

## 屋内退避は有効な手段です。

屋内退避をすることで、建物の気密性と遮へい効果により、放射線による影響を回避したり、低減させることができます。

### 外部被ばくの低減

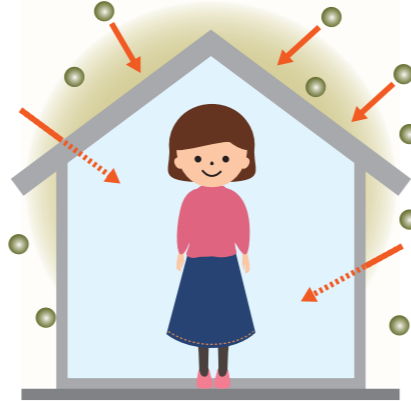
屋外

大気中や地面に落ちた放射性物質から、直接、身体に放射線を受けることで、被ばくする場合があります。



屋内退避

屋根や壁等により放射線が遮へいされるため、被ばくを低減できます。



### 内部被ばくの低減

屋外

呼吸や飲食によって、体内に放射性物質が入り、その物質から放射線を受けることで、被ばくする場合があります。



屋内退避

放射性物質の入り込みを防ぎ、放射性物質の吸い込みを低減できます。



#### 外部被ばく

外部被ばくを約10%減らします。

#### 屋内退避

木造家屋



#### 内部被ばく

放射性ヨウ素による内部被ばくを1/4~1/10に減らします。

コンクリートの建物



放射性ヨウ素による内部被ばくを1/20~1/70に減らします。

外部被ばくを80%以上減らします。

富山県総合政策局 防災・危機管理課

〒930-8501 富山市新総曲輪1-7県庁本館2階 TEL:076-444-9670 FAX:076-444-3489

平成29年11月発行

富山県 いざという時のために……

5km PAZ

# 富山県 原子力防災通信

その3

30km UPZ

この情報誌では、富山県での原子力防災に関する取組みをご紹介します。



# 県では、氷見市と連携し、原子力防災マップの作成を進めています。

- 「原子力防災マップ」は、原子力災害が発生した場合に備え、避難の際に支援が必要となる高齢者等の所在などを一目で分かりやすく記載したものです。
- 今年度は、碁石地区、上庄地区、八代地区において取組みを進めています。



昨年度は碁石地区で実施しました。

## 1 原子力災害の特性等について学習



## 2 集落ごとに話し合い、原子力防災マップを作成



## 3 コーディネーターの澤田准教授が、マップの改善点を助言



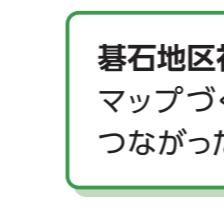
急傾斜地の修繕箇所や過去の被災状況などを次世代に伝えるという視点でマップを作成すると、さらに良くなると思います。



## 原子力防災マップのイメージ



碁石地区自主防災会 会長 池田 六義さん  
要支援者や危険箇所、地域の状況について意識ができたので、マップを活用した日頃の見守りにつなげ、定期的にマップを更新することも大切だと感じました。



碁石地区社会福祉協議会 会長 松金 龍音さん  
マップづくりに関わった地域住民が要支援者を気に掛ける、意識をすることにつながった。今後はそれを更に広げていきたい。



兵庫県立大学 准教授 澤田 雅浩さん  
防災マップ作成は地域の防災活動との協働につながり、高齢者等の所在や危険箇所を共有でき、具体的な対策を検討するという発展的な取組により、万が一の備えが充実し、これが各地で展開されるとよいと思います。